

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公表番号】特表2008-515405(P2008-515405A)

【公表日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【年通号数】公開・登録公報2008-019

【出願番号】特願2007-534921(P2007-534921)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 A

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68 A

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 31/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月6日(2008.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 0】

病原性因子による感染を治療し又は予防する下記(i)及び(ii)を含むトランス作用性核酸を含む薬剤であって：

(i)病原体又は患者の標的遺伝子にハイブリダイズすることができて、該標的遺伝子の発現を調節するターゲティング配列(該標的遺伝子は、病原体による感染の維持、統合、再現、毒性又は拡大に必須である)；及び

(ii)リガンドに結合するアプタマー配列(該リガンドの濃度は、該病原体の存在に依存する)、

患者に、十分量のトランス作用性核酸を投与することで、該リガンドの該アプタマーへの結合が、該核酸にコンホメーション変化を誘導し、該核酸は、該標的遺伝子の発現を、リガンド誘導されたコンホメーション変化に依存する様式で調節して、該病原体による感染を低減させ又は阻止する薬剤。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 1】

患者の細胞における、細胞の成長、分化又は生存力の表現型の調節を引き起こす下記(i)及び(ii)を含むトランス作用性核酸を含む薬剤であって：

(i) 該患者の細胞中の標的遺伝子にハイブリダイズすることができて、該標的遺伝子の発現を調節するターゲティング配列(該標的遺伝子の発現は、細胞の成長、分化又は生存力を変化させる)；及び

(ii) リガンドに結合するアプタマー配列(該リガンドの濃度は、細胞の表現型に依存する)

、該患者の細胞に導入することで、該リガンドの該アプタマーへの結合が、該核酸におけるコンホメーション変化を誘導し、該核酸は、該標的遺伝子の発現を、細胞の成長、分化又は生存力を該リガンドの非存在下と比較して変えるように、リガンド誘導されたコンホメーション変化に依存する様式で調節する薬剤。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 2】

細胞死を、前記のリガンドの存在に依存する様式で誘導するために利用される、請求項 5 1 に記載の薬剤。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 3】

細胞死を、前記のリガンドの存在に依存する様式で防止するために利用される、請求項 5 1 に記載の薬剤。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 4】

分化を、前記のリガンドの存在に依存する様式で誘導するために利用される、請求項 5 1 に記載の薬剤。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 5】

分化を、前記のリガンドの存在に依存する様式で阻止するために利用される、請求項 5 1 に記載の薬剤。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 6】

過形成又は腫瘍細胞の成長を防止するために利用する、請求項 5 1、5 2 又は 5 4 に記載の薬剤。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 7】

患者における脂肪細胞を低減させるために利用される、請求項 5 1、5 2 又は 5 4 に記載の薬剤。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 8】

幹細胞の成長及び分化を調節するために利用する、請求項 5 1、5 4 又は 5 5 に記載の薬剤。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 9】

免疫応答の活性化を調節するために利用される、請求項 5 1 に記載の薬剤。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6 0】

前記のトランス作用性核酸、又は該トランス作用性核酸を転写するための発現構築物を、前記の患者に移植される細胞に、エキソ・ピボで導入する、請求項 5 1、5 8 又は 5 9 に記載の薬剤。